

外郭団体評価調書【株式会社用】

1. 基本情報

令和6年7月1日 現在

団体名	株式会社 まちづくり豊栄		
所在地	新潟市北区東栄町1丁目11番7号		
代表者(職・氏名) (所属・職)	代表取締役 大倉 雄 二	電話番号	025-386-1212
	株式会社 大倉屋 代表取締役	ホームページ	http://www.toyosaka-tmo.com
市所管課	北区役所 産業振興課	電子メール	tmo@icss.jp
基本財産 (基本金)	33,300 千円	設立年月日	平成15年7月30日
出資者	氏名・団体等名称	出資等額	出資等比率
	新潟市	16,650 千円	50.0 %
	一般株主(市民・企業)	16,650 千円	50.0 %
		千円	%
		千円	%
		千円	%
設立目的	事業者や市民、新潟市などの出資による第三セクター特定会社による事業推進により、中心市街地及びまちづくりの活性化を図る。		
経営理念 経営方針	まちづくりを通じて、地域の賑わいと安らぎをもたらす会社をめざす ・環境を大切にし、地域の暮らしに貢献する企業をめざす ・社会的信頼・信用の高い企業をめざす		

【総合評価】

概ね良好	改善の余地がある	● 改善が必要	抜本的な対応が必要
総括的な所見			
<p>組織のあり方や存在意義を改めて見つめ直すとともに、各事業を今後どうしていきたいのか方向性を整理する必要がある。</p> <p>過去の改善指示に対して、未対応の項目が多く見られる。特に中期計画の更新は優先して取り組むべき課題である。</p> <p>防災道の駅化を目指すのであれば、中期計画の策定と合わせて、そのマイルストーンについても明確にする必要がある。</p>			
改善指示事項			
<p><外郭団体に対するもの></p> <p>防災道の駅化について、関係機関と協議を行い、それぞれの役割や権利義務について改めて整理すべき。その上で実現に向けて動くのであれば、その工程などを中期計画に盛り込むべき。</p>			
<p><所管課に対するもの></p> <p>なし</p>			

【総合評価を受けての団体としての決意】

<p>令和7年3月7日 代表取締役 大倉 雄二</p> <p>まず、過去の未対応の項目に1つずつ取り組む。またこれまで、コロナ禍や物価高騰による経営維持が主体となっていたが、本来のまちづくり会社としての存在意義や方向性を整理し、外部環境の変化に対応したアクションプラン（中、長期計画）を令和7年度に策定する。</p> <p>改善指示事項の防災道の駅化については、大きなプロジェクトであり、当社単独では成し得ない事業である。今後、関係機関や団体などとの協議を行い、実現に向けた方向性が確立した場合はアクションプランへ計上する。</p>
--

【総合評価における改善指示事項への対応方針】

<外郭団体に対するもの>

改善指示事項		防災道の駅化について、関係機関と協議を行い、それぞれの役割や権利義務について改めて整理すべき。その上で実現に向けて動くのであれば、その工程などを中期計画に盛り込むべき。				
評価指標	実施事項	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	関係機関との協議による実現に向けた方向性の確立	計画	現状分析	関係機関との協議と方向性の検討	関係機関との協議と方向性の確立	計画の策定
		実績				
		今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 関係機関、団体との協議をどういう形で進めるかが大きな問題である。国、県、市が関連するため、相当な時間を要すると考えられる。			
課題への対応	【今後の課題への対応】 相談役や関係者からの助言を受け、関係機関、団体の協議会への参加を促す					

<所管課に対するもの>

改善指示事項						
評価指標	実施事項	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	関係機関との協議による実現に向けた方向性の確立	計画				
		実績				
		今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】			
課題への対応	【今後の課題への対応】					

2. 主要事業

事業名①	市街地活性化事業							
事業概要	(概要) ①葛塚魅力創出プロジェクトの企画・運営 (うまいもん市場、似顔絵事業等) ②北区の魅力発信(ホームページ、観光レポーター(北区観光協会委託事業)等企画・運営) <市政へどのように寄与・貢献するのか> ・北区 区ビジョンまちづくり計画に位置付けられている「活力ある産業のまち」～魅力ある産業の振興)に向け、まちづくり会社として具体的な事業展開を図っている。							
	事業区分	主体区分	収支区分	単位	予算・決算	令和3年度	令和4年度	令和5年度
-	-	支出額	千円	予算	2,200	2,200	1,112	1,000
				決算	2,200	1,050	1,097	-
活動指標①	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由			
「カフェDE婚活」の参加者数 ※R4年度までは婚活イベント「ダイコン」の参加者数としていたが事業を中止したため、R5年度から本指標に変更。	R6	人	20					
	R5	人		20	コロナの関係から大規模な実施はできなかったが、今回は、商工会と協力し実施した。			
	R4	人	80	0	参加者の減少から中止し、未達成である。			
	R3	人	80	38	コロナの影響により、2回実施の予定が1回しか開催できなかったため、未達となった。			
活動指標②	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由			
うまいもん市場の出店数	R6	店	25	-	-			
	R5	店	25	25	登録店数は、40店である。			
	R4	店	20	25	昨年を試行以降出店者も定着し、区外からも出店の要望があるなど目的数値は達成した。			
	R3	店	20	24	次年度の本格実施にあたり、10月に試行的に開催したが、関係者の努力により、予想を上回る出店があった。			
活動指標③	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由			
観光レポーター2名のフォロワー数	R6	人	600	-	-			
	R5	人	550	705	令和2年からの3か年事業のため事業を廃止する。 →北区観光協会の事業として実施			
	R4	人	500	833	地域の特産物や販売店などをInstagram、フェスブックに投稿し、情報の発信を行った結果、目的は達している。			
	R3	人	500	463	レポーターが趣向を凝らした投稿をするなど工夫をしたが、目標には至らなかった。			
所管課の関わり及び主要事業にかかる評価	うまいもん市場は引き続き月2回開催し認知度も向上、これまで市場への来場が少なかった親子連れ等若年層が増える等、区ビジョンに沿った交流人口拡大を図った。持続可能なイベントとなるよう、葛塚市創生プロジェクト実行委員会の事務局として、企画、当日運営等積極的に参画し、うまいもん市場の運営の負担軽減に努めてほしい。 また、前回の評価同様、婚活イベントは、関係者と協議し、市街地活性化へ効果のある事業展開を期待したい。							

2. 主要事業

事業名②	収益事業							
事業概要	(概要) ①「ヤマザキショップ豊栄駅前店」の運営 ②「豊栄駅前時間貸し駐車場」の運営 ③「道の駅豊栄」の運営 <市政へどのように寄与・貢献するのか> ・「道の駅豊栄」を運営し、国道でのオアシス的役割を担うとともに、区内の特産品の販売を行う。また、この収益をもって民間での運営が難しい豊栄駅構内のショップ運営や駐車場管理を行い、区民及び来訪者への利便性向上を図っている。							
	事業区分	主体区分	収支区分	単位	予算・決算	令和3年度	令和4年度	令和5年度
-	-	収入額	千円	予算	0	94,500	103,040	102,700
				決算	94,500	99,746	105,949	-
活動指標①	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由			
ヤマザキショップ 豊栄駅前店の売上増加	R6	千円	19,000	-	-			
	R5	千円	17,800	19,743	目標の売上高には、達したものの物価の高騰により収益増には至っていない。			
	R4	千円	18,000	17,794	コロナの影響によるJR豊栄駅の乗降客が減少も落ち着き始めたが、まだ尾を引いている状況から、未達成となった。			
	R3	千円	24,000	16,965	コロナ禍によるJR豊栄駅の乗降客が減少したことにより、計画未達となった。			
活動指標②	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由			
豊栄駅前時間貸し 駐車場の売上増加	R6	千円	2,900	-	-			
	R5	千円	2,840	3,008	目標計画値は達成した。今後、新紙幣やインボイスの対応のため機器の入替が必要となる。			
	R4	千円	2,500	2,843	コロナの影響も落ち着き始めたことから利用者が徐々に、回復しつつあることから達成することができた。			
	R3	千円	2,500	2,385	コロナ禍による外出自粛の影響から駐車場利用者減少により計画未達となった。			
活動指標③	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由			
「道の駅豊栄」の 売上増加	R6	千円	80,800	-	-			
	R5	千円	82,400	83,198	目標額は、達成した。売上は増額したものの仕入単価が上がったことにより、思った収益は増えていない。			
	R4	千円	74,000	79,109	コロナの影響も落ち着き始めたことから車利用者も徐々に回復しつつあることから達成することができた。			
	R3	千円	69,000	70,478	車利用者のコロナ禍からの回復が見られ、計画を上回る実績となった。			
所管課の関わり及び 主要事業にかかる評価		各項目の売上目標を達成し、収益事業を黒字化することができた。 不採算事業の再構築を検討・実行しながら、安定した収益が得られる経営体制への向上に取り組んでほしい。						

2. 主要事業

事業名③		まつり・イベント支援事業					
事業概要	(概要) ①豊栄大民謡ながしの支援 ②葛塚まつり ③福島潟駅伝競走大会 ④その他イベントの開催・運営・支援等 その他、北区観光協会の委託事業として、福島潟菜の花まつり、あったかマルシェなど事業の開催やJRA豊栄特別の協賛それに、ござれや花火、キテミテ北区、豊栄大民謡流しなど、実行委員会の一員として活動している。						
	(市政へどのように寄与・貢献するのか) イベントの開催・運営等の支援を行うことで、賑わい創出、観光誘客などの交流人口拡大が図られる。 ・北区観光協会から委託を受け、事業を同観光協会と一体となって展開している。						
事業区分	収支区分	単位	予算・決算	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
-	-	支出額	千円	0	0	30	35
				0	0	35	-
活動指標①	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
豊栄大民謡ながし 葛塚まつり 福島潟駅伝競走大会 の支援実施	R6	回	3				
	R5	回	-	3	コロナ禍が落ち着き、各イベントが再開された。		
	R4	回	3	1	コロナ禍により、福島潟自然文化祭は開催されるも、かなり小規模開催となる。他は実施されず未達成である。		
	R3	回	3	0	コロナ禍により全て中止。		
所管課の関わり及び 主要事業にかかる評価	新たな観光協会主催イベントを開催し、区ビジョンに沿った交流人口拡大を図った。 今後も、区ビジョンに合わせたまちづくりへ、積極的かつ主体的に参画し、まちづくり会社、また、観光協会事務局として、市街地活性化、交流人口拡大等に向けた取り組みに期待したい。						

3. 組織等の状況

(1) 役職員数の状況

令和6年7月1日 現在 (単位:人)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
役員数	9	8	8	9
常勤	0	0	0	0
市派遣				
市職員OB				
プロパー役員				
他団体からの派遣				
非常勤	9	8	8	9
市兼任				
市職員OB				
他団体兼任	9	8	8	9
その他				
職員数	22	22	22	22
常勤	1	1	1	1
市派遣				
市職員OB			1	1
プロパー職員	1	1		
他団体からの派遣				
非常勤	21	21	21	21
市兼任				
市職員OB				
他団体兼任				
その他臨時・嘱託等	21	21	21	21
見直し等の取組み				

(2) 職員の状況 (市派遣職員を除く。)

令和6年7月1日 現在 (単位:人)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
職員の状況	管理職	1	1	1	1
	一般職	21	21	21	21
	合計	22	22	22	22
年齢構成	20代以下				
	30代				
	40代	5	5	1	1
	50代	8	8	9	9
	60代以上	9	9	12	12
	合計	22	22	22	22

(3) 役員報酬・職員給与等の状況

(決算 単位：千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(予算)
報酬・給与等	20,845	21,887	22,712	22,763
内 市職員分	0	0	0	0
役員	0	0	0	0
常勤				
内 市職員分				
非常勤				
内 市職員分				
職員	20,845	21,887	22,712	22,763
常勤	2,412	2,211	2,160	2,160
内 市職員分				
非常勤	18,433	19,676	20,552	20,603
内 市職員分				
平均年収(市職員を除く。)				
常勤役員				
常勤職員	2,412	2,211	2,160	2,160
見直し等の取り組み				

(4) 給与等の適正化の状況(市派遣職員を除く。)

現在の給与体系		今後の見直し予定	
●	団体独自の給与体系	有	予定時期 年度～
	市の給与体系を準用	●	無
	その他〔 〕		その他〔 〕

4. 財務の状況

(1) 損益計算書

(決算 単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常 損益	営業収益(売上高)	92,750	102,497	115,674
	営業費用	96,806	103,640	110,159
	売上原価	57,038	62,333	66,406
	事業費			
	販売費・一般管理費	39,768	41,307	43,753
	営業損益	▲ 4,056	▲ 1,143	5,515
	営業外収益	972	171	245
	営業外費用			
	営業外損益	972	171	245
	経常損益	▲ 3,084	▲ 972	5,760
損特 益別	特別利益			
	特別損失			
	特別損益	0	0	0
税引前当期損益		▲ 3,084	▲ 972	5,760
法人税、住民税及び事業税		180	180	180
当期損益		▲ 3,264	▲ 1,152	5,580
前期繰越損益				
当期末処分損益		▲ 3,264	▲ 1,152	5,580
処利 分益	利益処分額			
	次期繰越損益			

(参考)

(決算 単位：千円)

(別掲)人件費	21,436	21,887	22,712
役員分			
職員分	21,436	21,887	22,712

(2) 貸借対照表

(決算 単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
資産の部	資産の部合計	57,955	57,406	63,023
	流動資産	43,599	44,523	51,110
	現金預金	36,771	37,286	42,841
	受取手形			
	未収金	1,624	2,007	2,224
	有価証券			
	その他流動資産	5,204	5,230	6,045
	固定資産	14,356	12,883	11,913
	有形固定資産	11,838	10,474	9,614
	無形固定資産	540	431	321
	その他投資等	1,978	1,978	1,978
	繰延資産			
負債の部	負債の部合計	10,246	10,849	10,886
	流動負債	6,418	7,021	7,058
	短期借入金			
	その他流動負債	6,418	7,021	7,058
	固定負債	3,828	3,828	3,828
	長期借入金			
その他固定負債	3,828	3,828	3,828	
純資産の部	純資産の部合計	47,710	46,557	52,137
	資本金	33,300	33,300	33,300
	法定準備金			
	剰余金	14,410	13,257	18,837
	うち当期未処分損益 (当期損益)	14,410	13,257	18,837
負債の部及び純資産の部合計		57,956	57,406	63,023

(3) 市財政支出等の状況

(決算 単位：千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
市財政支出等の合計	110	110	2,222
補助金	0	0	0
事業費補助金			
運営費補助金			
設備投資に係る補助金			
負担金			
交付金			
委託料	110	110	2,222
指定管理料（公募）			
指定管理料（非公募）			
業務委託（随意契約）	110	110	2,222
業務委託（その他）			
貸付金（期中借入額）			
出資・出捐金（追加額）			
その他			
貸付金残高			
損失補償契約に係る債務残高			
損失補償限度額			
その他財政援助の状況 （税や使用料の減免、建物の無償貸与等）			

(市財政支出等がある場合) 目的、内容、必要性、増減理由等

自転車無料貸出業務委託(JR豊栄駅前):JR利用者等が福島潟等の区内観光施設を巡る利便性を考慮して実施。
 北区葛塚エリア賑わい創出事業委託:地域経済の停滞などの課題解決するため、産学官による取組みを推進し、街なかの活性化を図る。

5. 経営改善状況（評価指標）

※ 評価基準に満たない場合は、網掛けセルに太字斜字体が表示されます。

（1）財務の健全性

指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常損益		▲ 3,084 千円	▲ 972 千円	5,760 千円
当期損益		▲ 3,264 千円	▲ 1,152 千円	5,580 千円
自己資本比率	純資産	82.3 %	81.1 %	82.7 %
	純資産＋負債			
流動比率	流動資産	679.3 %	634.1 %	724.1 %
	流動負債			
固定長期適合率	固定資産	27.9 %	25.6 %	21.3 %
	固定負債＋純資産			
借入金依存度	借入金	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	資産の部合計			
剰余金（欠損金）	純資産 －資本金（基本金）	14,410 千円	13,257 千円	18,837 千円
資金運用	基本財産としての 有価証券の保有	有	<ul style="list-style-type: none"> ① 運用方針を明文化し、それによって運用している。 ② 資金運用利率は市場金利の水準を確保している。 ③ 資金運用に関する情報収集に努めている。 ④ 元本割れのリスクはない。 	
		無		

（2）団体の自立性

指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度
市職員比率	常勤職員数（市職員）	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	常勤職員数			
財政的依存度	市財政支出	0.1 %	0.1 %	1.9 %
	経常収益			
運営費補助比率	市運営費補助金	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	経常収益			
随意契約比率	市随意契約額	100.0 %	100.0 %	100.0 %
	市委託料			

(3) 経営の効率性

指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度
総資本経常利益率	経常利益	▲ 5.3 %	▲ 1.7 %	9.1 %
	資産の部合計			
売上高経常利益率	経常利益	▲ 3.3 %	▲ 0.9 %	5.0 %
	売上高			
総資本回転率	売上高	1.6	1.8	1.8
	資産の部合計			
職員1人当たり 売上高	売上高	4,216 千円	4,659 千円	5,258 千円
	職員数			
職員1人当たり 経常利益	経常利益	▲ 140 千円	▲ 44 千円	262 千円
	職員数			
売上高販管費比率	販売費及び一般管理費	42.9 %	40.3 %	37.8 %
	売上高			
職員1人当たり 管理費	販売費及び一般管理費	39,768 千円	41,307 千円	43,753 千円
	職員数			
人件費比率	人件費	23.1 %	21.4 %	19.6 %
	売上高			
役員人件費比率	役員人件費	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	人件費			

(4) 経営の適正性

① 中長期計画の策定状況	
	無 計画名称 [] 計画期間 ~ 年度
概要・数値目標	
●	無 未策定理由 〔2020中期計画は終了したが、コロナの影響から社会情勢が不透明なことから計画をすることが難しかった〕

② 経理の適正化の取組み	
専門家による監事・監査役就任	専門家による会計指導
有	就任時期 年度～ 依頼先職種 [] ● 有 依頼時期 平成15年度～ 依頼先職種 [風間良光税理士事務所]
●	無

③ 事務処理改善の取組み	
●	有 取組内容 平成22年度～ 〔 株式会社まちづくり豊栄事務専決規程 〕
	無

④ 人材育成の取組み	
有	取組内容 年度～
●	無

⑤ 情報公開に関する規定の整備状況	
有	策定時期 平成 年度～ 規定名称 []
●	無 未整備理由 〔 必要性は認識しつつも策定に至っていない。 〕
	● 定款等 平成22年度～
	● 事業内容 平成19年度～
	● 役員名簿 平成19年度～
	役員報酬 年度～
	● 事業報告 平成19年度～
	● 損益計算書 平成29年度～
	● 貸借対照表 平成29年度～
	● 事業計画書 平成19年度～
	● 予算概要 平成22年度～

団体ホームページ掲載

改善対応区分
A: 改善対応済(引き続き継続して実施するものも含む)
B: 改善の取組の効果が始まっている
C: 改善の取組に着手
D: 改善の取組に向けて検討中
E: 今は実施せず今後の課題とする

6. 経営改善状況（個別の取組み）

（1）前年度までの評価における【改善指示事項】の改善状況

改善指示事項		「まちづくり会社」としての団体のあり方を明確にし、外部環境の変化に対応した団体独自のアクションプラン（新5か年計画）の見直し・修正が必要である。				
改善のために取り組んだ内容		取締役会において協議を行ったが、コロナ禍以降の社会情勢が不透明であることか計画が立てづらく、経営方針の策定に向けた取組みができなかった。				
取組みによる成果		成果なし。				
改善・対応区分		A	B	C	D	● E
改善に向けた取組み 評価指標	実施事項	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	計画	新経営方針の策定	新経営方針の実施	新経営方針の策定	新経営方針の実施	
	実績	未実施	未実施			
	進捗状況	【令和5年度までの達成状況及び今後の見込み】 令和4年度策定、5年度実施の予定であったが、コロナ禍以降社会情勢が不透明であり、市民ニーズの把握等のデータも取得が難しく、計画の策定が立てづらい状況であったことから令和6年度に策定することとし、取組みができなかった。				
	今後の課題	【取組み状況を踏まえた今後の課題】 経営方針の策定に向けた、市民ニーズや社会情勢などの情報収集がの取得が課題である。				
	課題への対応	【今後の課題への対応】 関係団体との会合や市民等からの意見等を聴取し、ニーズの把握を行う。				

改善指示事項		道の駅について、ハード面の改修に合わせた企画・イベントを実施するなど、集客および収益向上に向けた相乗効果を発揮できる施策を検討するべきである。					
改善のために取り組んだ内容		築36年を経過し老朽化が進んでいることから、大規模な改修が必要であるが、当社単独で改修は難しい状況である。このため、ハード面に合わせた企画等はできないが、集客、収益を図るために新たに看板の設置、表示板の交換を行い集客増に努めた。収入増を図るため、自販機を移動しそのスペースに新たな出店者を確保した。また、極端に来客が減少する時間の営業を短縮し経費節減を図った。なお、国道事務所には、空きスペースのイベント等の活用について提案を行っている。					
取り組みによる成果		看板の設置や表示板の交換により、来客のイメージアップには繋がっている。しかしながら、改修、イベント何をやるにしても、国交省の承認がなければできず、思うような成果は得ていない。					
改善・対応区分		A	B	C	●	D	E
改善に向けた取り組み 評価指標	実施事項		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	営業面積の拡大	計画	イベントの発展	イベントの発展	イベントの企画・実施	イベントの企画・実施	
		実績	中止	中止			
		進捗状況	【令和5年度までの達成状況及び今後の見込み】 他の道の駅とは違い、高速道路と同様にバイパスに上がらなければ会場にこれないことや来客者が通勤、長距離などが殆どであり、近隣住民や一般の集客は難しいうえ、イベントを開催するスペースが少ないことから企画が難しく実施には至っていない。また、国土交通省はこの道の駅を道路として認定していることから道路占有が必要であり、スムーズに開催できないのも要因である。				
		今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 開催場所の確保など全てにおいて、国交省と承諾が不可欠であることから、国交省と連携したイベントの企画や地元の企業や観光協会、商工会等の関係団体とも連携した「道の駅豊栄」ならではのイベントを企画し集客増を狙う必要がある。				
		課題への対応	【今後の課題への対応】 イベント時の販売スペースの確保や使用方法など国交省の承諾が必要である。企画の内容にもよるが、国交省（国道事務所）にも一緒に参加してもらう方法も考える必要もある。				
	営業利率向上、客単価向上	計画	管理体制の再検討	管理体制の策定	営業利率の維持	営業利率の維持	
		実績	営業利率の変更・品揃えの見直し	営業利率の変更実施	維持継続	維持継続	
		進捗状況	【令和5年度までの達成状況及び今後の見込み】 営業利率については、円安等により物価が上昇し仕入額も膨らむ一方で、前年度より売上が上がっても収益としては減少している実態がある。そんな中でも、最低限前年度を維持するため努力している。また、品揃えについても、販売状況により変更や入替を行い購買力の向上に努めている。また、客単価においても、物価高等により難しい状況である。				
		今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 最低賃金の改定などによる経費の増や経費の節減にも限界があり、非常に難しい状況である。販売商品の見直しや購買力向上のためのイベント等の開催などの施策を検討する必要がある。				
	課題への対応	【今後の課題への対応】 現状では、物価の高騰は止めることはできないが、引き続き経費の節減や接客対応など、様々な観点から見直しを行い誘客や購買力の向上を図るために職員との対話により問題解決策を模索する。					

改善指示事項		赤字であるヤマザキショップ事業について、黒字転換できる方策を検討しつつ、事業のあり方、位置づけを整理する必要がある。					
改善に向けた取り組み	改善のために取り組んだ内容	売上増を図るため、商品の変更や陳列方法の変更など実施した。また、集客数が減少する時間帯の営業時間の縮小など経費節減を行ってきた。コンビニ化などの検討を始めたが、売り場面積が極小なことや橋上駅ということで駅を利用人以外の集客は難しい等で頓挫している。今後の状況によっては、事業の撤退も視野に入れて検討している。					
	取り組みによる成果	コロナ禍よりは、回復したものの赤字回復までには至っていない。					
	改善・対応区分	A	B	C	●	D	E
	実施事項	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
	計画	品揃の変更検討	提携社分析	継続・他社変更・撤退	継続・他社変更・撤退		
		実績	実施	実施			
進捗状況	【令和5年度までの達成状況及び今後の見込み】 商品の変更や購買意欲を上げるために陳列棚の見直しなどを行いました、営業時間の短縮による経費の節減など行ってきたが、目標値には達していない。						
今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 これ以上の営業利率を上げることは、現在の条件では無理がある。事業の撤退も視野に入れ検討する。						
課題への対応	【今後の課題への対応】 地域貢献の名の下で運営してきた事業である。 検討結果により撤退した場合の従業員等の対応など問題である。						

改善指示事項		道の駅の運営管理事業者として、今後の法人のあり方や運営手法などについて市と協議する必要がある。					
改善に向けた取り組み	改善のために取り組んだ内容	新潟市とは、幾度か話し合いを持ったが、株式会社ということから支援は難しく協議は行っていない。					
	取り組みによる成果	成果なし					
	改善・対応区分	A	B	C	D	E	●
	実施事項	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
	計画	計画の策定	連携事業の実施	連携事業の計画			
		実績	未実施	未実施			
進捗状況	【令和5年度までの達成状況及び今後の見込み】 コロナ禍が落ち着き、少しずつ回復傾向にある状態である。よって、これまで支出を最小限に抑えることが精一杯で、取り組んでいない。						
今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 道の駅も築36年を経過し、いたるところ老朽化が進み維持管理費も増加する一方であり、今後大規模な改修が必要となる。現在の道の駅は、スペース的にも利便性にも不足している状況である。道の駅そのものの拡大やバイパス以外からも往来できるような整備を行うことが必要である。						
課題への対応	【今後の課題への対応】 近年造られた道の駅は、道路利用者だけではなく地域の人達の憩いの場、遊び場など様々利用されている。今後大規模な改修が見込まれる中、国道というだけで国だけが携わるのではなく、県や市も含めた一体となった事業展開するための話し合いの場を考える。						

改善対応区分
 A:改善対応済(引き続き継続して実施するものも含む)
 B:改善の取組の効果が始めている
 C:改善の取組に着手
 D:改善の取組に向けて検討中

(2) 【その他改善を要する事項】の改善状況

今後改善を要する事項		道の駅豊栄の清掃委託費の負担軽減について					
改善のために取り組んだ内容		当社が譲渡を受けた建物と国交省の管理分との線引きを行い、それに係る費用も概算も既に渡し交渉を行っている。それに伴う駅長の賃金や管理のための協定書の見直しなども依頼している。					
取り組みによる成果		新潟国道事務所長はじめ担当者には説明しているが、回答はでていない。					
改善・対応区分		A	B	C ●	D	E	
改善に向けた取り組み	評価指標 国交省との協議 清掃費の負担減	実施事項		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
		計画	-	国交省との協議	清掃費負担減		
		実績	-	実施			
		進捗状況	【令和5年度までの達成状況及び今後の見込み】 現状を理解してもらうため、再三理解と協力をお願いしている。				
		今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 国の理解と予算化が必要である。				
		課題への対応	【今後の課題への対応】 今後も引き続き理解と協力をを求めていくほかない。				

7. 評価の結果

【団体の評価コメント】

財務の健全性	<p>コロナ禍もようやく落ち着き、徐々にではあるが回復の兆しが見えてきている状況である。当社の経営基盤は、依然として脆弱なものである。できる限り必要経費の節減に努め、増収に心掛けたきた。道の駅が主の財源であることから、今後どのように活用するかにより増収も考えられるが、その反面、大規模改修も見据えた検討をしなければならない状況である。また、Yショップ豊栄駅店の運営の改善が見込めなければ、撤退・閉店もやむを得ない手段だと考えている。ここ数年の赤字決算から黒字に転じており、今後更に安定した基盤が確保できるようにしたい。</p>
団体の自立性	<p>新潟市から資本が入っていることから完全な自立は無理である。当社の収益の殆どが道の駅であり、道の駅を継続的に管理運営するには、第三セクターという肩書がどうしても必要であり現状での自立は困難である。</p>
経営の効率性・適正性	<p>経営の効率性を図るため、その都度経費の節減や改善など行ってきた。現時点ではこれ以上考えられない。</p>
その他	<p>経営基盤と言える道の駅の大規模なてこ入れを行うことで、安定的な財源の確保が見込まれる。てこ入れには、当社と国交省だけではなく県、市それに関係機関などの連携が必要である。</p>

【新たに改善を要する事項】 ※「6. 経営改善状況」に記載のもの以外で改善を要する事項を記載

今後改善を要する事項					
評価指標	実施事項	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	計画				
	実績				
	今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】			
課題への対応	【今後の課題への対応】				

【団体による総括的な評価】

<p>コロナ禍も過ぎ、経営状況も改善の方向に向かっている。しかしながら、不安定な経営基盤でありこれを解消するために更なる事業展開が必要である。道の駅の大規模改修やYショップ豊栄駅店の運営判断など様々な問題を解決しなければならない。</p> <p>また、円高による物価の高騰など社会情勢が不安定であり、先行きを見通すことが難しい状況であるが、これまでの事業を継続するとともに現状維持若しくは今以上の安定化を図っていきたい。</p>
--

【所管課による評価】

<p>新たな観光協会主催イベントの開催や道の駅へ新規店舗を出店させる等、交流人口拡大への取り組みを進めた。</p> <p>営業収益（売上高）は改善し、収益事業を黒字化することができた。</p> <p>不採算事業の再構築を検討・実行しながら、安定した収益が得られる経営体制への向上に取り組んでほしい。</p> <p>設立目的であるまちづくりを進めていくためには、不採算事業の再構築を図る中で、事務局の人員体制の強化が必要と思われるので、検討してほしい。</p> <p>令和3年度より策定が必要なアクションプランについて、早急に策定の目途をつけ、区ビジョンに合わせたまちづくりへ、積極的かつ主体的に参画し、当団体の設立目的に見合った活動を進められる体制を整え、地域の牽引役となることに期待したい。</p>
--